テクノロジーマネジメント実践論Ⅰの講義の進め方について

平成28年9月29日

イノベーション人材養成機構（IIDP）
特任教授　古田健二

テクノロジーマネジメント実践論Ⅰの講義の進め方について

イノベーション人材養成機構（IIDP）
古田健二、furuta.k.aa@m.titech.ac.jp

■　理解度の管理のために毎回の講義に**“フィードバックカード*”**提出。 *次ページで詳細説明。
－講義中にカード配布し、終了時に出口で回収。
－カードには**学籍番号、氏名、講義の感想コメントなどを記入**。（誰でも読めるように丁寧に記入）. 視点としては、印象に残ったこと、新しい気づき、意外だったこと、疑問に感じたこと等を3～4行程度で記入。

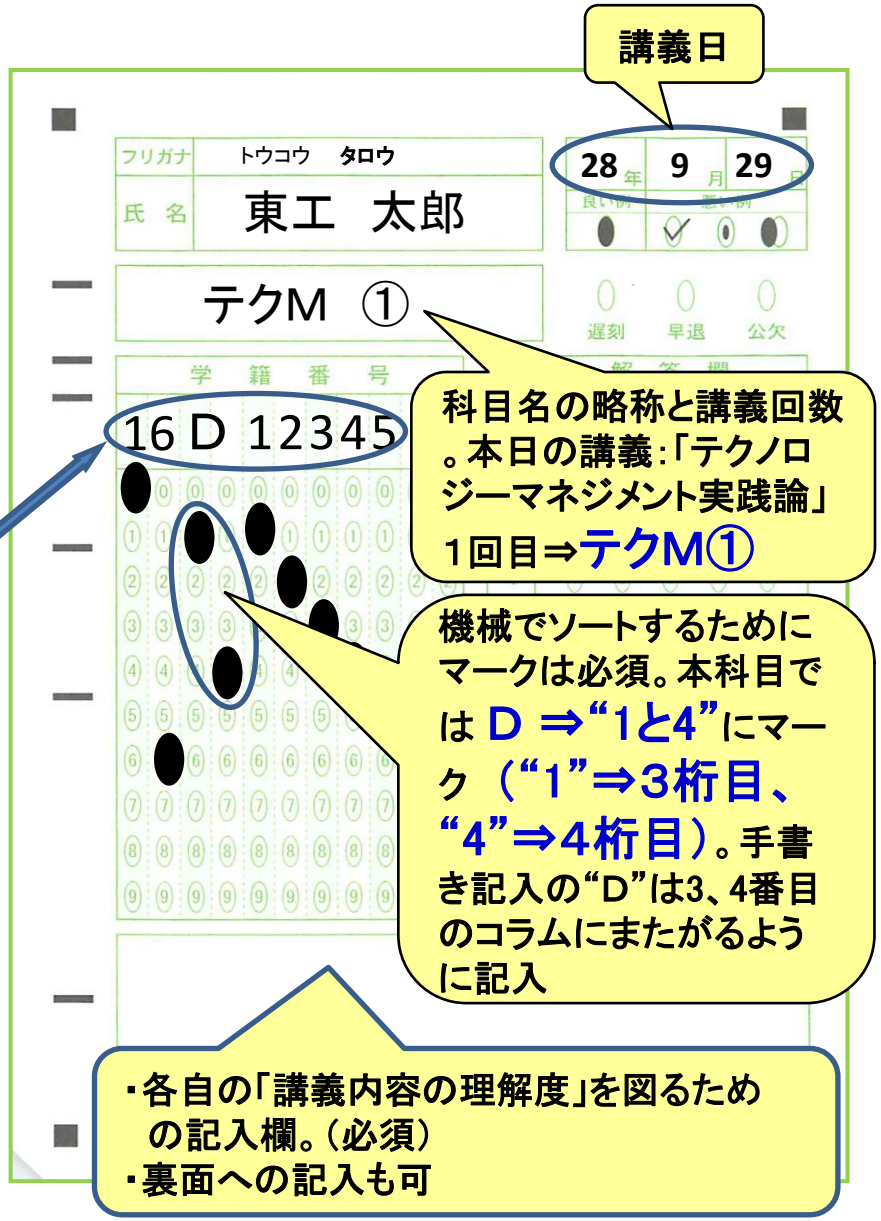
■　公的行事への参加などでやむを得ない理由で欠席の場合は以下のように処理すること。
－事前連絡は不要とする。
－当該講義日の**講義資料を読み、その感想レポートをOCW-i経由で提出**すること。
－感想レポートには、欠席せざるを得なかった**理由を書いておく**こと。なお学会参加などは**発表者であったか**、研究室関連行事などでは**教員の指示によるものか**どうかなどを明記しておくこと。（1週間以内）
－この感想レポートは毎回の課題レポートと別の提出BOXを設定してあるので間違えないように注意。
－私事、体調不良、風邪などは出席とは扱えないので、レポート提出は無意味。（インフルエンザ、ノロウィルス等伝染病は考慮対象とするので別途メールで古田まで連絡のこと。）

■　課題提出
【共通】
－**OCW-i経由**で提出すること、その際には**タイトルの先頭に学籍番号、氏名を明記**すること。
【第1回、第2回、第3回】
－第1回、第2回、第3回の課題レポートについては、**10/19（水）17:00までに3回分まとめて課題提出BOXへ提出**すること。（履修登録期間中のため、受講生が確定するまでのものをまとめる。）
【第4回以降】
－課題レポートは**該当講義日の課題提出BOX**へ提出すること。（複数の講義日のレポートを同一BOXへ提出することは不可とする。）
－提出期限は1週間とする。（期限遅れは減点とするので期限厳守のこと）。**（翌週水曜日の17:00）**。
－課題レポート、感想レポートともにOCW-iへの提出を確認してもIIDPからは受領通知はしない。

■　毎回の課題レポート及び欠席補償の感想レポートとも、期限遅れのものは クォーター終了時にOCW-iへ「期限遅れレポート提出用専用Box」を用意するので、**それまで保管し、まとめてそこに提出すること**。

■　講義資料、課題は毎回OCW-iにアップするので**各自ダウンロード**すること。（基本、当日の配布はない。）

■　**非常時、不明な点などに関してイノベーション人材養成機構（IIDP）に連絡をとる場合は** iidpinfo@jim.titech.ac.jpにメールすること。ただしセキュリティ上の問題もあるので**学内メールアドレス以外からの発信メールは受け付けない**。

フィードバックカードについて

1. シラバスにおいては、「講義内容の理解度」と「課題レポート」としてあるが、このカードにより毎回の「理解度」の参考とする。
2. 右記の様な紙を毎回講義時に配布し、受講生から毎回フィードバックを得ることで受講生毎の「理解度」を確認する形をとる。
3. 氏名と学籍番号を必ず記入すること。更に、ミス防止のために機械でもソートするので、学籍番号を必ずマークシート形式で**左詰め9桁に記入。**（そのために、**HB以上の濃さの鉛筆を必ず持参**すること。）
4. 理解度については、用紙下部の囲み枠に入る範囲内で 記入すること。
   ーこの欄へ数行の記入することは必須とする。
   ーその日の講義を聞いての、コメント、新しい気づき、感じたこと、提案等(記入無しは減点とする。)
5. **講義終了後、講義室出口の袋に入れて退出。**